

一般社団法人復興みなさん会

2019年度 活動報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

# 一般社団法人復興みなさん会 2019年度 活動報告書 目次

2019年4月1日～2020年3月31日

<u>1. 南三陸椿ものがたり復興</u>	・・・	1
<u>2. 新しい市街地におけるコミュニティづくり</u>	・・・	12
2-1. 交流会の開催等コミュニティ活性化に向けた支援	・・・	12
2-2. 情報発信・広報を通じた町民活動の支援	・・・	29
<u>3. 南三陸復興まちづくり通信発行</u>	・・・	36
<u>4. 関係主体との情報交換・連絡調整</u>	・・・	39
<u>5. 団体運営に関する事項</u>		
5-1. 総会の開催	・・・	42
5-2. 理事会の開催	・・・	42
5-3. 例会の開催	・・・	42
5-4. 団体情報の発信	・・・	42
<u>6. 決算書類</u>	・・・	43
資料編	・・・	48

## 1. 南三陸椿ものがたり復興

南三陸町に多く自生しその実からとれる油が生活に使われる等、町民の記憶に様々な形で残る「椿」。大津波や塩害にも耐え生き残ったその逞しい植生から、この町に生き続ける者たちが生き方を学び、復興に向けた希望を共有するため、椿をテーマとした交流・まちづくり活動を継続して行った。

本活動は、以下の助成事業の一環として実施したものである。

- ・みやぎチャレンジプロジェクト助成金（宮城県共同募金会）（4月～3月）
- ・公益信託仙台銀行まちづくり基金助成金（1月～3月）

### (1) 椿はな咲くまちづくりお茶会

椿の話題をきっかけに町民どうしの交流を図り、新しい町への希望を共有する場として開催した。

※復興公営住宅入居者等を対象として実施。取組内容は、2-1節を参照。

### (2) 椿のまちづくり活動

①椿の植樹、下草刈り、植樹地への通路の整備作業等

②椿の種ひろい、苗の育成活動

将来の津波災害の際、避難路となる道筋に沿って椿を植え、避難の目印にする「椿の避難路」づくり事業の一環として、以下の活動を行った。

すでに植樹がなされた避難路について、草刈り等の整備活動を7回実施した（5/21、6/1、8/8、8/17、8/18、8/22、9/29）。町民団体や外部支援者、特に夏休み期間の学生ボランティアの皆さんに多く協力いただき実施した。

さらに、将来の植樹に向けた苗づくりや椿油の材料とするため、椿の種拾いイベントを4回実施した（11/9、11/12、11/20、11/28）。町民団体や復興公営住宅入居者の皆さんに参加いただき、計12kgの種を集めることができた。

※復興公営住宅等での取り組みについては、2-1節参照。

○椿の避難路の草刈り（別紙報告参照）

日程 6月1日（土）

場所 志津川字城場地内

参加 南三陸椿くらの皆さん等 計4名

○椿の避難路 整備活動（別紙報告参照）

日程 8月22日（木）

場所 上山八幡宮敷地内およびその周辺地域  
（南三陸町志津川字上の山）

参加 福岡大学「東日本復興夏期セミナー」  
参加者 33名等 計36名

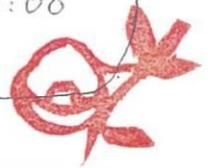
内容 上の山の「椿の避難路」の下草刈り



南三陸 椿くらぶ 活動レポート 2019.6.1(土) AM9:00~3:00 PM

椿の避難路の草刈り & 椿柄の小物づくりの巻

参加者: 玲子さん、由美さん、鈴木さん、真弓 (4名)



1.

今回は  
城場の  
椿の避難路を  
整備しました。



小学校に  
抜ける  
作場道路に  
元々自生している  
椿を活かして  
道の  
守っています。



椿も  
何が  
嬉しい!

2. 椿の周りを  
丁寧に  
草刈りしました



(今までは  
行政区の有志として  
活動していた所)

3. 椿を間違えて刈らないように  
竹で印をつけました。安心。



4. 後半は  
上山ハコダテの  
社務所にて

椿柄の  
小物づくりを。

一層食はカトシツと  
(由美さん差し入れのミネナカキでした)

5. 今回は、御朱印帳を入れる袋を  
作ることに...

おまけ付き  
お上品



あれこれ工夫しながら 試作品を  
途中まで作っていて、  
今回はこまで。次回もお楽しみに



復興みなみ会 レポート  
南三陸橋ものがたりシリーズ



福岡大学の皆さんと橋の下草刈り  
2019・8・22 (36名)  
場所：上山緑地公園—志津川小学校までの  
橋の避難路



とっも  
大きく  
育って  
いました



人の  
背丈を  
越える  
くらいに!!



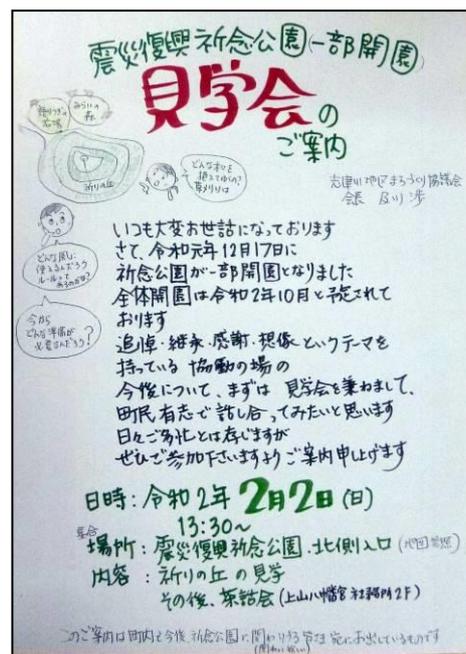
2011年からご支援下さっている福岡大学のみなさま 今年も雨の中本当にありがとうございました  
(8月下旬には九州で水害が起り大変な中だと察しておりましたが、どうぞご無事でしたら幸いです)

### ③南三陸町震災復興祈念公園の運営について検討するワークショップ・広報活動の実施

津波被災エリアに町の復興のシンボルとして整備されている「南三陸町震災復興祈念公園」の管理運営に多くの町民が参加できる仕組みを作っていくため、町内のまちづくり団体（志津川地区まちづくり協議会、かもめの虹色会議）と連携して、話し合いの場を11回設けた（5/17、5/23、5/30、8/1、8/16、9/12、9/20、9/28、11/12、11/26、12/11）。

また2月2日（日）に、部分開業した祈念公園の見学会を開催、本格開業（2020年秋予定）に向けて、町民が参加する植樹会や、公園の日常的な管理に町民が関わる仕組みづくりについて話し合い、今後、この集まりを母体として検討を進めていくことになった。具体的には、参加者の声を活かして、「震災復興祈念公園」の管理運営に向けた取り組みとして、以下の5つの目標を設定した。

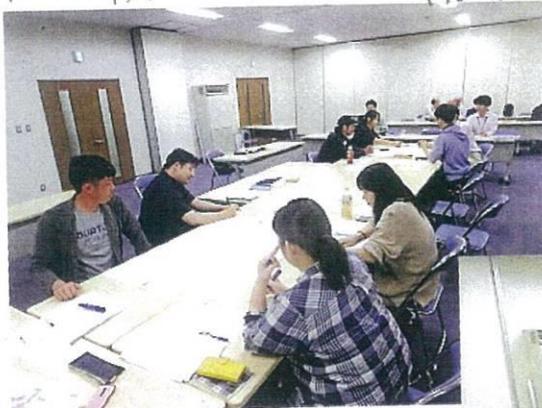
- 1.（交流）  
語り部やツアーの導入ゾーンとして考えよう
- 2.（憩い）  
ちいさな子どもや高校生の拠り所としてケアしよう
- 3.（管理）  
町内業者の奉仕活動を点数制にして展開しよう
- 4.（再利用）  
枯れ葉などを腐葉土や肥料として活用しよう
- 5.（学び）  
防災学習の拠点として活用しよう



### (3)「南三陸椿くらぶ」との連携事業

町民団体「南三陸椿くらぶ」と連携し、外部から町を訪れた方々に椿のまちづくり活動について伝えていくための「椿のきりこはがき」作り等を行う活動を上山八幡宮社務所にて9回（5/1、5/12、5/18、6/1、6/16、7/14、9/7、9/30、10/6）実施した。椿のまちづくり活動での連携も深まってきている。

なんと参加者6名  
(うち役員3名!) なので  
後半は傍聴の方にも  
加わって頂きたい  
(感謝)

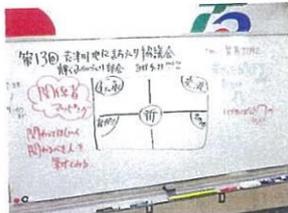


第13回 志摩川地区  
まちづくり協議会  
輝くまちづくり部会 レポート  
2019.5.23 PM 6:30~8:00

前半 松原防潮堤について、県より説明  
前浜の使い方、階段の位置について  
後半 どの、新倉公園の概要を町より説明



後半 その2  
震災復興  
新倉公園について  
関係者マッピング  
作り



2つのチーム毎に「伝承、交流、育樹、その他」の  
機能ごとに関わる人、団体を  
挙げてみました



100分タイムを通して、  
町内外の関係者がみえてきました



はじめから  
アスコミさんにも  
入ってもらって  
過程を記録して  
もらうも必要  
行政にも  
声をかけよう!

この情報を基に  
今後、協議を重ねて「必  
公園をつくる会」のような



今年の秋頃までには第1回目を...

※、今に同じく作る会を作りたいの会民向けAWSをどう開催するかが(誰が、どんな形で、いつ頃)が重要

# 南三陸町震災復興記念公園 年間使用方マップ

2019. 8. 1  
資料

	伝承	交流	育樹	その他
春				
夏				
秋				
冬				
通年				

ポイント!!  
・赤と緑で区別  
・自己負担

1. 前回の振り返り(関係者マップ)を確認、より具体的な団体・個人の具体的な使用、活動をイメージ
2. 季節ごとに考えてゆくとイメージがふくらむかも!
3. 1人ひとりが考えても OK!
4. ざっくりとまとめてみる(公園の中に人かいる様子)がイメージ
5. ざっくりとまとめてみる(公園の中に人かいる様子)がイメージ

本日のスリッパ

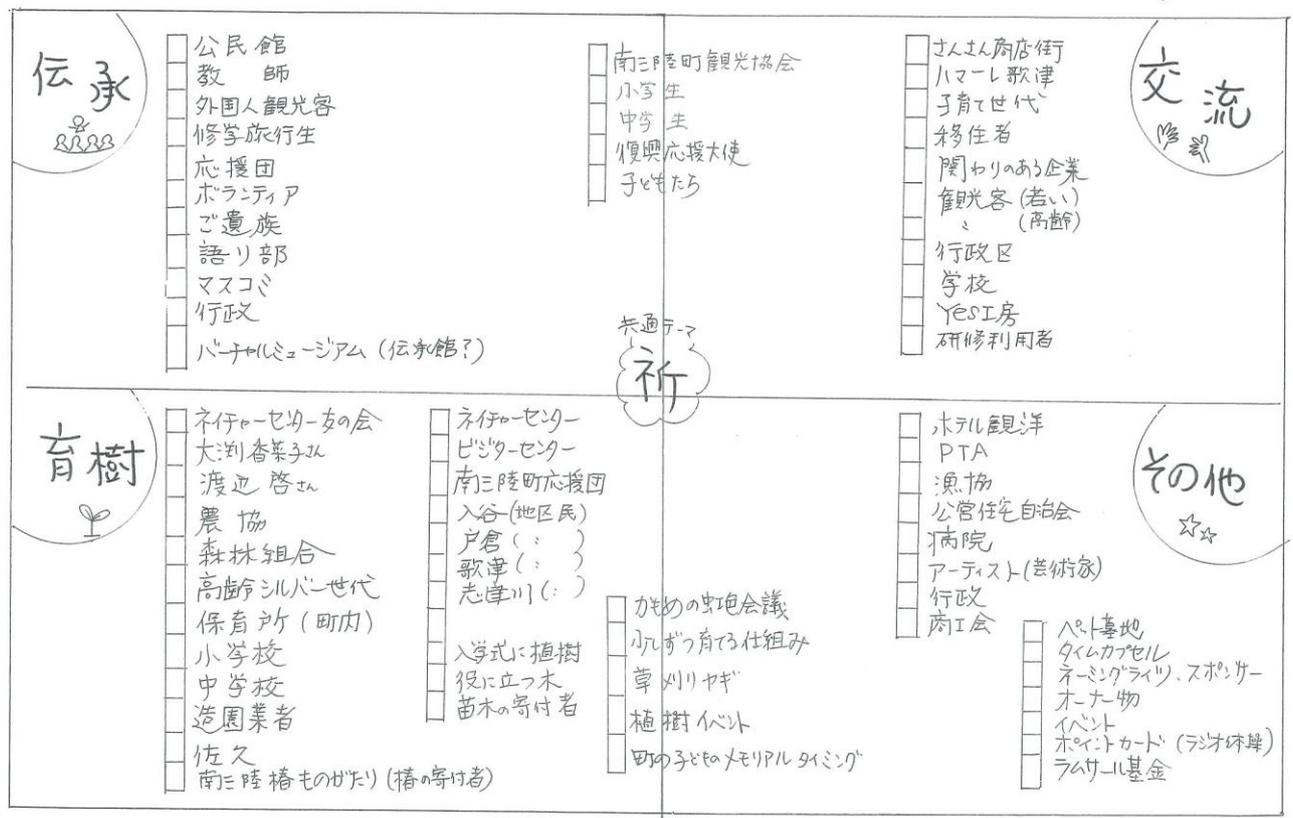
本日のスリッパ

※ 植樹のは組みも考える  
公園のWS(全町)の開始にむけて

3. リカサリ 資料

## 南三陸町震災復興記念公園 関係者マップ

2019. 5. 23 復興委員会



※ 実際は他にも沢山挙げられると思います

第96回 かもめ地会 会議 レポート  
 2019.9.20 18:30~21:00  
 テーマ 宮城俊作先生を囲んで  
 新倉公園をかかえるの巻 14名



設計者である宮城先生がご来町、改めて 想いを語って頂きました

今回は  
 町民、役場、UPのみならず  
 官民協働の場が叶いました  
 かもめの歩みにより、今回も  
 ちいさな想いを届けています



観光 = 国の光をみる = 文化 暮らの方が大事  
 二つからの人の呼び方が変わることを意識すること



みらいの森(1h)の片側に  
 明治の森のよりなエリアを縮小するアイデア  
 半分は集いの  
 エリアに、など  
 おみわけて、  
 方向性だけは  
 早めに決めたい

子どもたちと  
 植樹できる  
 椿の苗木は  
 小さいのが100本  
 あるなら計画地に  
 増やしてもOK



これから  
 公園を育てる会  
 (愛好会)のよりな  
 組織の鍵に  
 なるのは  
 観光協会!!

いのちめぐりの中、  
 公園という発想で  
 人が回遊する時の  
 「へそ」=公園

今回の話し合いで、まち協に呼びかけ、さらに関わり方を模索したいと願っています

## 震災復興祈念公園一部開園 見学会（町民関係者有志）レポート

日時：2020年 2月2日 pm1:30~4:30

呼びかけ：志津川地区まちづくり協議会会長 及川渉

協力：復興みなさん会（中日新聞の助成金を活用して諸経費を担当）

場所：祈念公園～上山八幡宮社務所

参加者：及川渉（まち協）太齋彰浩（サスティナビリティセンター）山内利也（志高 pta 会長、入谷）齋藤明（教育委員会教育長）佐藤太一（まち協、森林組合）畠山幸男（復興みなさん会、歌津）高橋志保（子育てサークル mokomoko 代表、歌津）佐野薫（まちおこし協力隊）工藤（まち協、復興みなさん会※記録）

※関係者マップから地区ごとに声掛けをした

内容：公園の一部開園エリアを見学し、状況を確認、その後意見交換をした

### 感想

- ・風当たりが強い・立派な公園→管理が大変そう
- ・海が見えるのはとても良い。
- ・築山の法面がススキなのは、夏、秋は良いが、冬を想像すると心が荒む・・・
- ・さんさん商店街との連携が期待できる（食、スポーツ関連、ボールを借りることができたり出来ると憩うこともできるのでは？）
- ・マラソンコースによい（志津川高校生のマラソン大会コースにぜひ使ってほしい）
- ・樹種を見ると年間の彩はありそう。
- ・語り部コースや、ツアーの導入によい。
- ・想像より木々がこんもりしそう（みらいの森）
- ・北風をうけるタブの木は大丈夫？
- ・きれいだが、木々の植樹予定数は多すぎでは？  
（段階を経て、様子を見ながら徐々に植えるなど）  
⇒まずはタブ等を公募で植樹（町の予算で購入するもの）  
寄付される椿は別途、時機を見ながら植えこんでゆくなど、時間差があっても）
- ・高校生の居場所が無いので、屋根のある場所を増やしてあげたい
- ・歌津からは遠い。どう利用していいのかわからない。関われない。
- ・志津川以外の地区民の理解は今一つ[今は壁がある] 壁＝誇り  
→南三陸をみんなで支える、というイメージの共有が必要



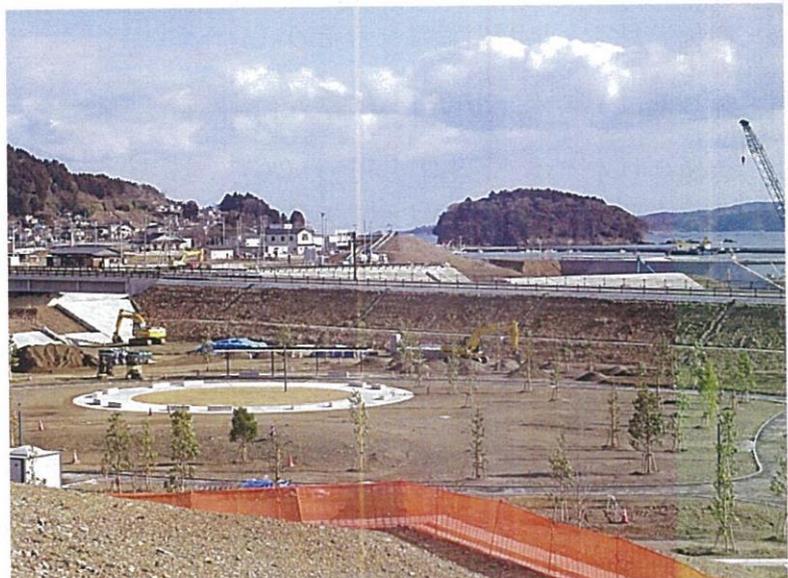
## 課題と工夫



- ・ 築山の上の防災機能を知るために、**防災訓練**をしたい  
→万が一、築山に避難しても、今のままでは防災機能を使えない…
- ・ 完成する前から、学校単位での植樹などで子供たちと一緒に作っていききたい（(教育長)
- ・ 子供たちの**防災訓練**、**防災教育の拠点**として、遠足などと組み合わせながら構築してゆきたい。近くにできる**伝承館とセット**で考えてゆくべきところ（教育長）
- ・ **掃除、草刈り**に関しては、利用者の条件としてしまう。（グランドゴルフチームや、単発の利用者イベント時など）また、町内の業者の奉仕活動などの協力を得る仕掛けが必要。  
→町として、入札の**点数制度に活かす**などの発信をしてもらえたら…
- ・ **枯れ葉を利用する**という想像も→広葉樹も多いので、枯れ葉の処理をどうするか  
→良い肥料や、腐葉土となるので、どこかに仮置きをして生かす手立てを考える
- ・ こどものために、自然的な遊具（丸太や小さな築山）があるエリアを手作りしてゆく  
余白はある？公園エリア内になくても、周辺の緑地ゾーンに可能性があれば…  
※バスケットコートや遊具などでも遊びたいが…⇒公園の目的に配慮が必要。  
⇒松原公園が子供の遊び場になっているので、それぞれの公園の目的をみながら使い分けを。



雨で崩れている場所も…  
今後も台風後などが心配…



想像より早く森が出来そう（→ゆっくり隙間を埋めたい）

## 感想と課題から導き出されたこと

今後、公園を育ててゆく会（仮称）の準備会をするなら…

### 全体が良くなる為に、5つのフックを掲げて呼びかけをする

（良くなるとは？→町の税収を助ける、維持管理できる、利用者にメリットがある）

#### ◎公園を育ててゆくための会に掲げる5つのフック案◎

- 1（交流）語り部やツアーの導入ゾーンとして考えよう
- 2（憩い）ちいさな子供や高校生の拠り所としてケアしよう
- 3（管理）町内業者の奉仕活動を点数制にして展開しよう
- 4（再利用）枯れ葉などを腐葉土や肥料として活用しよう
- 5（学び）防災学習の拠点として活用しよう



## 今後の展開（案）

公式の場である、志津川地区まちづくり協議会（役員会）を通して、町に、以上の5つのフックを盛り込んだ提言書をまとめ、提言。自由度（任せてもらえるか）を確認しながら、まずは「準備会」を立ち上げ、定期的に5つのフックをもとに活動者を呼びかけ話し合っゆく。さらに必要なフックがあれば追加してゆく。

参加者/玲子さん 由美さん 禮子さん 鈴村さん 真らさん  
(由祐さん 運真さん) 17名



南三陸椿くらぶ レポート

2019.(令和元年) 5.18

PM 13:00 ~ 17:00

椿を活かして  
まろぐりくらぶ 第2期スタート



御朱印帖  
入れは?  
バッチは?  
ボタンは?

コースターも good! のかんも良いわよね

今回は、まろぐりのおはなしと  
椿の生地を活かして何か作れるかを考えた



中学生の少年たちも参加

お昼はみなさん(天井&五目あかけ使きりん)のお弁当を  
頂きました。とっても美味しかったです

後半は、上の山から志津川小学校に対する椿の避難路を  
歩いてみた? の巻

入り口部分は草が茂っていて  
歩きにくかったので

後日  
みなさん会の  
修藤&昌山さんに  
草刈りしてもらい  
ました



5年前に  
植えた椿も  
すくすく成長して  
いました

50cmほどののが  
今では2m近くに!!

山道の半分は、水道局があることもあり、  
石利道に整備されています!!(わー)



赤いおすーい

## 2. 新しい市街地におけるコミュニティづくり

復興公営住宅や防災集団移転団地など新しい住宅団地のコミュニティの活性化に向け、交流会や移動交流会（外出支援活動）の開催を通じて支援した。特に、コミュニティの一体化に向けて復興公営住宅入居者と防災集団移転団地の住民とがともに参加できるイベントを開催、両者が互いに顔を合わせ、コミュニケーションを深められる場を提供した。

さらに、住居への引きこもりによる孤立や、買い物や通院といった日常的に発生する移動の困難さといった、現在の自治会や既存の組織には対応が難しい課題について、合併前の旧町村のような広域の枠組みで解決につなげていくためのきっかけづくりとして、地域マップを作成した。

### 2-1. 交流会の開催等コミュニティ活性化に向けた支援

復興公営住宅の自治会について、共益費の集金や団地の共通費用支払といった最低限の機能にとどまらず、住民同士の交流や助け合い活動のような多様な機能を発揮していくことができるよう、入居者の意向を尊重しながら、集会所を活用した交流会や外部支援者のコーディネート、町の無償貸切バス「モアイバス」を活用した移動交流会（外出支援活動）等を通じて伴走支援した。

特に、移動交流会（外出支援活動）については、告知後すぐに参加者が定員近くまで集まるなど、ニーズが高く、参加者の感想からも満足度が高い傾向が見られた。事前にお茶会の場で希望を聞いて行先を決めるようにしていたが、「〇〇に行きたい」「●●したい」といった前向きな提案を多く聞くことができた。おまかせではなく、自分たちの活動という意識が芽生え始めており、活動の自走に向けた良い傾向と考えている。

とはいえ、地域の現状を考えると、復興公営住宅内の交流活動だけでは近々限界が来る。サロン企画について団地を超えた交流・連携も模索したが、あまりうまくいかなかった。日頃顔を合わせない方と一緒に活動することに消極的な姿勢が見られ、脆弱なコミュニティが閉鎖的になりつつある傾向が感じられた。今後は、復興祈念公園をフィールドにした活動など、コミュニティが開かれるような活動を工夫して進めていきたい。

本活動は、以下の助成事業・補助事業の一環として実施したものである。

- ・東日本大震災現地NPO 応援基金〔特定助成〕東日本大震災復興支援  
JTNP0 応援プロジェクト助成金（4月～6月）
- ・みやぎチャレンジプロジェクト助成金（宮城県共同募金会）（4月～3月）
- ・平成31年度おらほのまちづくり支援事業補助金（南三陸町）（6月～3月）
- ・令和元年度みやぎ地域復興支援助成金（宮城県）（6月～3月）
- ・公益信託仙台銀行まちづくり基金助成金（1月～3月）

## (1) 戸倉復興住宅・戸倉団地～戸倉地域全体の取り組み

外部支援者のコーディネートや交流会・外出支援活動、「南三陸復興まちづくり通信」を通じた情報発信等の伴走支援を継続した。加えて、中心部や漁村集落の状況が震災前と大きく変わってしまった戸倉地域の現状を考慮し、復興後の新しい地域づくりを始めるきっかけとなるよう、復興公営住宅の状況も含めた新しい地域の姿を「戸倉っこマップ」としてまとめ、地域内全戸に配布した。

### ① 椿のお花見ぐるっと町内バスツアー（戸倉地区）

（別紙報告参照）

日時 4月22日（月）10：00～14：00

対象 戸倉地区の復興住宅入居者と  
高台移転団地の住民

場所 戸倉復興住宅集会所発着～南三陸町内

参加 17名

内容 モアイバスを利用し開催。町内の志津川、  
歌津、入谷を周遊し満開の桜を愛でた。



入谷の雲南神社のそばを流れる八幡川で椿の花流しをして震災の犠牲者の霊を慰めた。入谷ひころの里「ばっかり茶家」で昼食を楽しんだ後、三陸道三滝堂ICの「道の駅」を視察した。

### ② 戸倉マップづくりワークショップ

（別紙資料参照）

日時 6月24日（月）9：30～11：30

会場 戸倉復興住宅 集会所

参加 10名

内容 昨年度の第1回ワークショップとその後の  
お茶会で意見を出しあいながら進めてきた  
マップづくり。ほぼ完成したデザイン案を  
見ながら意見交換した。



### ③ 「戸倉っこマップ」完成おひろめ会

（別紙報告参照）

日時 9月19日（木）9：30～11：00

会場 戸倉復興住宅 集会所

参加 11名

内容 入居者の皆さんと制作を進めてきた「戸  
倉っこマップ」が完成、フレームに入れた  
マップを披露した。その後のお茶会では、  
今後、モアイバスで行きたい所について  
話し合った。





④モアイバスで行くバスツアー

(別紙報告参照)

日時 11月18日(月) 9:00~15:00

対象 戸倉地区の復興住宅入居者と  
高台移転団地の住民

場所 戸倉復興住宅集会所発着  
～気仙沼市内～陸前高田市内

参加 15名

内容 モアイバスを利用した移動交流会と  
して企画。当会メンバーのガイドで、

気仙沼大島と陸前高田を視察した。4月に開通した気仙沼大橋を渡って訪れた大島では島内を一周。龍舞崎や亀山の頂上からの眺望を満喫した。陸前高田では国営の追悼・祈念施設や津波伝承施設、道の駅、奇跡の一本松などを見学した。



⑤椿はな咲くまちづくりお茶会

椿油でけんちんだんご汁を作らましょの会

(別紙報告参照)

日時 2月17日(月) 9:30~11:30

会場 戸倉復興住宅 集会所

参加 14名

内容 「椿油でけんちん汁を作らましょ！」  
と題して開催。朝のラジオ体操をした  
後、調理を開始。椿油を使って大

根、人参、ゴボウなどの野菜やキノコの入ったけんちん団子を作り、和やかに会食した。出来上がるまでの間は、犬棒カルタやシルバー川柳カルタをして楽しんだ。椿油は2019年秋に町内で拾ったタネから絞ったもので、12kgのタネから20lの油が採れた。



# 春のお花見

ぐるっと

## 町内バスツアーの

ご案内

主催-社)  
復興みなさん会

ぽかぽか 陽気が  
うれしい春の到来です。  
モアイバスに乗って  
町内のお花見をしてみませんか?  
先着20名様です

参加費(当日集金)

**500円**  
お昼代です

日時 **4月22日(月)**

AM 9:50までに(時間厳守です)  
ばし 戸倉復興住宅集会所前に集合です

- スケジュール
- ・ 町内ぐるっとめぐります
  - ・ ひこりの里(入谷)でお昼です(予定)
  - ・ 三滝堂でおかきもの♡ (帰りは2:30頃です)

参加  
ご希望☆の方は

申込書に必要事項をご記入の上、**4/15(日)**までに  
集会所の専用ボックスに入れて下さい

内容	お名前	住所(かたに)	TEL	生年月日
4/22 (戸倉) バス ツアー				

南三陸 椿 ものがたりシリーズ レポート

椿のお花見バスツアー

2019年 4月22日 10:00~14:00  
戸倉田地のみなさんと 17人+4人=21名



桜の花びら舞い散る  
上山八幡宮



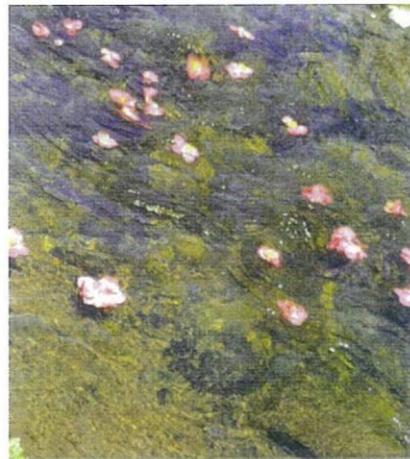
快晴に恵まれた  
春の日に戸倉の皆さんと  
椿のお花見バスツアーを  
開催しました

上山八幡宮にある  
椿の小路で  
椿の花を拾って  
入谷の八幡川に流して  
お祈りをしました

まー  
きれい♡



途中、歌津地区にも  
足を伸ばしました  
ハマレ歌津にも寄りました



椿は  
3月に咲く  
鎮魂の花でも  
あります

海に  
祈りが届きます  
よか ☆

いつもより  
量が多い?



椿  
ご膳として  
はわらせた!!

お昼は入谷のばかり茶屋にて。これ 500円!  
何と御膳に桃色の椿の花が添えられて



いやー  
本当に  
楽しかったです  
帰りは  
三滝堂で  
買い物をして  
帰路に  
つきました。

戸倉復興住宅とその周辺にお住まいの  
みなさんへ

# 椿のお茶会の ご案内

一社)復興  
みなさん会

みなさんこんにちは。

梅雨に入りましたが  
こういう時こそ みんなで「集まり  
椿のお茶会」しませんか？

制作途中の「戸倉こマップ」の

完成も、あと少し！下書きをお持ちします。



日時 **6月24日(月)**

戸倉復興住宅 集会所にて

9:30 朝のラジオ体操の後 ~ 11:30まで

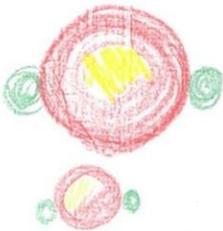
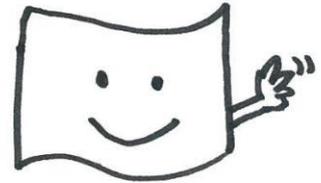
- ・「戸倉こマップ」の下書きをひろげてみます
- ・椿のお茶会とおいしいお菓子を楽しめます

みやぎ地域復興支援助成金補助事業

東日本大震災復興支援  
JT NPO応援  
プロジェクト

# 椿 はな咲くまちづくりお茶会

## 戸倉っこマップ 完成!



### おひろめの会 ご案内

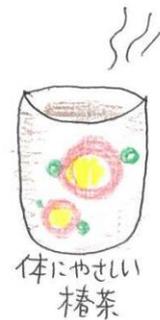
主催/ 復興  
-社) みなさん会  
担当 工藤  
(0226-46-3453)

長かった夏もおしまい  
いよいよ秋がやって来ました!  
春に作り始めた  
「戸倉っこマップ」が、ようやく完成しましたので  
みなさまにおひろめしたいと思います  
ぜひ **椿のお茶** を楽しみながら  
ごらん下さい (戸倉地区のみなさんには 每户に  
お渡しいたしますので お受け取り下さい)



# 9月19日(木)

- ◇ 9:30のラジオ体操がおわってからです
- ◇ 集会所にて 行います
- ◇ 参加費 無料です
- ◇ 差し入れ 大歓迎です \*^^\*



ジヤジヤ ———ン



南三陸 **椿** ものがたりシリーズ  
2019.9.19

戸倉のこマップ  
おひろめお茶会 レポート

ばしょ 戸倉復興住宅 集会所  
参加者 総勢 17名 (住民 11名)

春から始めた  
戸倉のこマップが完成しました



復興  
みなさん  
主催

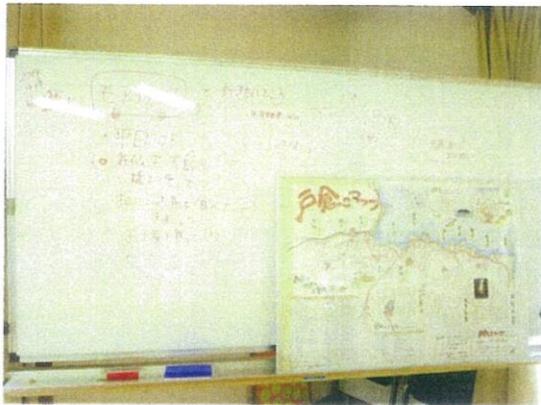
戸倉のみなさんにおひろめました ☆  
(椿茶とバナナ焼き菓子を食べながら)



ご自分のお住まいのあたりや  
文化、歴史を

改めて確認しました

いほいいところあります  
ね



後半は、モアバスで 行く場所を

話し合いました。

なんとモアバスは  
大人気で

11/17まで

予約がいほいい!!

コミュニケーションで...



11/18(月) 気仙沼・大島方向 に決定しました

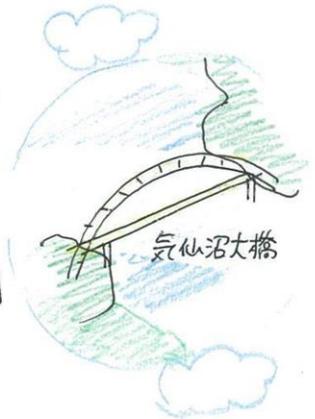
次回もどうぞ  
お楽しみに



戸倉復興住宅とその周辺にお住まいのみなさまへ

# モアイバスで行く

# バスツアーのご案内



主催 (一社) 復興みよこ会  
090-7564-0804 (7才ウ)



みなさんこんにちは

秋まさがりの紅葉の頃に

モアイバスに乗って ちょっと出掛けて

みませんか? 今回は **気仙沼大島** 方面です。

ご参加ご希望の方は 下記の申込用紙に  
必要事項をご記入の上

先着

**11月11日** まで お申し込み下さい (20名様限定)

集会所内の  
専用ボックスに  
入れて下さい!



申込  
用紙は  
こちら  
↓

**日時 11月18日(月)**

参加料 **500**円

◎集合場所 戸倉復興住宅 集会所前に

**8:50** までに集合して下さい (時間厳守)

◎当日の行程: 戸倉 - (三陸道) - 気仙沼大島 (橋を渡ります) - 昼食 - 帰路 (実費)

--- 判トリ線 ---

11/18バスツアー	お名前	ご住所	生年月日	TEL

モアibusで行く！  
 亀仙沼・大島・陸前高田の旅

2019. 11 18  
 戸倉田地のみなさんと  
 (主催:復興みなみ会)  
 念願の大島の橋を渡りました!

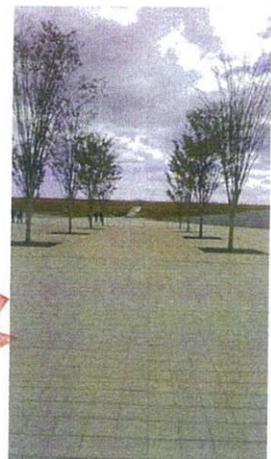
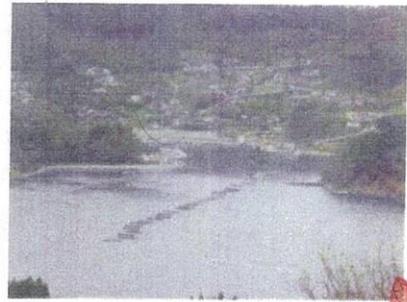


(亀山)  
 大島にも登りました!

龍舞山寺にて



★  
 亀山からの眺め  
 ☆



陸前高田の(奇跡の一本松)  
 祈念公園もみずました

デジタル王が高くて  
 三好からの参考に  
 になりました!



ホカ〜ン  
 満点の

ヌメナホルモン定食♡

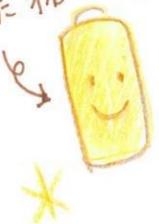
戸倉(中)地にお住まいのみなさまへ

# 椿油で けんちん汁を 作りましょ の会



主催 (一社)  
復興みなさん会

昨年の秋に  
拾った椿のためがら  
とれた椿油です



季節は立春を迎え  
梅の花も開き始めました!

今回は、南三陸産100%の

椿油を使ってけんちん汁を作ります  
ぜひみなさんご参加下さい

日時 **2月17日(月)**

9:30 朝の体操の後～

持ちもの エプロン・三角巾 など

参加料 無料

その他 差入れ大歓迎です

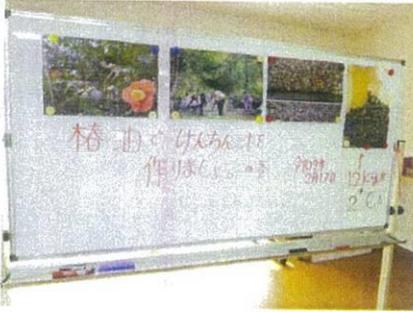
会場②  
戸倉公学  
住宅の  
集会所  
です



けんちん汁が出来上がるまでは 昔ながらの  
犬棒かるたで楽しみましょ!



去年  
拾った  
椿の種  
12kgから  
2Lの椿油  
とれました!



# 南三陸 椿ものがたり



椿油で <sup>たんご</sup>けんちん汁をつくりましょ の巻

2020年2月17日(日)

AM9:30~11:30

戸倉公営住宅のみなさん17号(総勢)

↓  
今回は  
その椿油で  
けんちん汁を  
作りました!  
↓  
出来上がる  
までは  
大棒かるたを  
して盛りあがり  
ました!



集会所にもかるたが  
欲しいね

ありがとうございました! 他にも「シルバー川柳かるた」をました!

椿油を  
温めて  
まずは  
ごぼうを  
炒めましょ



→ (ご飯まで炊いて下さった みよちゃん)



台所では  
手際よく  
準備が  
進み  
ました  
本当に  
早い!!

差い中の清物と

ほかほかの  
けんちん  
たんご汁は  
じも体も  
あったかくなる  
美味しさ  
でした



→ 30分程 火にかけてら、はい、完成!



good!!

みんなで食べると嬉しいですね \*♡\*

黄金色の椿油は美容にも  
みなさまごちそうさまでした!!

## (2) 志津川西復興住宅・田尻畑行政区

「南三陸復興まちづくり通信」を読まれて他団地の活動について知り、ぜひうちの団地でもということ、以前に要望をいただいた経緯があった。自治会や社協LSAへのヒアリングを実施したところ、2つに分かれている復興公営住宅のうち西ヶ丘行政区所属で規模が大きい「西の東」団地（LSA常駐）よりも、田尻畑行政区所属の「西の西」団地に交流ニーズが深いことがわかった。復興公営住宅と防災集団移転団地、既存団地が隣接している地区であり、相互の融和を意識して支援した。

### ①お茶っこ交流会

日程 9月30日（月）

会場 志津川西復興住宅 第2集会所

参加 10名

内容 今後のコミュニティ活動について話し合い。  
参加者から、日帰りの研修旅行の希望が出され、11月初旬に、住民サークル「ほのぼの倶楽部」との共催で実施することとした。



### ②モアイバスで行くバスツアー（志津川西地区）

日時 11月8日（金）9：00～15：00

対象 志津川西復興住宅（西の西）と  
その近隣にお住まいの方

場所 志津川西復興住宅集会所前発着  
～気仙沼市内～陸前高田市内

参加 13名

内容 当会のメンバーのガイドで、気仙沼大島と陸前高田を視察した。大島では龍舞崎や亀山の



頂上からの眺望を満喫したほか、鶴亀大橋をバックに記念撮影。陸前高田では国営の追悼・祈念施設や津波伝承施設、奇跡の一本松などを見学した。

住民の自主サークル「ほのぼの倶楽部」との共催で実施。行程や視察場所については、「ほのぼの倶楽部」の方にゆだねる形で、自主性を大切にすることを意識して進めた。

(3) 志津川中央復興住宅／中央行政区

2018年度に集中的な支援を行った地区である。復興公営住宅自治会については、活動が自走段階に入った。当会としては、伴走支援を行いながら、入居者のニーズに沿い必要に応じて支援する方針とした。

① 椿のたねっこ拾いバスツアー

(別紙報告参照)

日時 11月20日(水) 10:00~14:00

対象 志津川中央地区にお住まいの方

場所 志津川中央復興住宅 集会所発着

参加 17名

内容 志津川・上山八幡宮や袖浜の「北の恋人岬公園」、歌津館浜の津龍院等をモアイバスで回って椿のたね拾いをしたほか、当

会のメンバーの案内で、志津川と歌津の復興状況を視察した。入谷ひころの里の「ばっかり茶家」で昼食後、三陸道三滝堂ICの「道の駅」を見学した。



この他、3月1日に岩手県大船渡市の「椿まつり」を視察する移動交流会も企画していたが、新型コロナウイルス感染症の広がりを受けて、残念ながら中止とした。

公益信託仙台銀行まちづくり基金助成事業  
宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業

三陸・大船渡  
**椿まつり** に行ってみよう!  
モアイバス リア-の  
ご案内

先着 20名様

主催(社)  
復興みなし会

日時: **3月1日(日)**

集合時間: 集会所前に **8:50まで!**

参加料: **500円** (入館料込み)

内容: モアイバスで  
大船渡市の **世界の椿館**に  
行きます!  
この日は、けんちん汁のおふるまひも  
あります!!

世界13ヶ国  
550種の椿の  
競演

お申し込み  
方法: 参加ご希望の方は  
以下の申込用紙に必要事項を  
ご記入の上、**2月21日(金)まで**  
集会所内の専用BOXへ!!

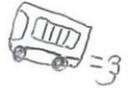
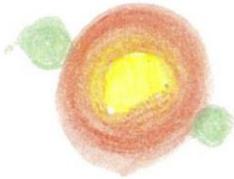
申込用紙はこちら

お名前	住所	TEL	生年月日
3月1日(日) 椿まつり参加			

志津川中央復興住宅にお住まいの皆さま対象

# 椿のたねっこ拾い

## バスツアーのご案内



主催 (-社)

復興みなさん会

担当: 工藤

0226-46-3453

みなさん、こんにちは

日々の暮らしは、いかがですか?

さて、今回は昔なつかしい

「椿のたねっこ拾い」のバスツアーの

ご案内です (バスの予約がとれず、この時期ですが...)

町内の椿の種を拾い集めて (ゆくゆくは)

苗木を作って避難路に植えたり

油をしめて楽しんだり♡

いろいろな味わい方がある。椿の種を採りに、

ぜひ一緒にバスで出かけてみませんか?

先着20名様

日時

11月20日(水) AM10:00 ~ PM2:00(予定)

申込は  
11/15  
まで!!

集合場所: 中央地集会所前: AM 9:50まで!!

◇ 参加費: 500円 (昼食代)

◇ 申込方法: 以下の用紙にご記入の上、集会所までご持参下さい。

◎ 定員になり次第、締め切らせて頂きます。

切り取って

当日のルート: 上山八幡宮 - 戸倉神社 - 入谷ひこりの里 (昼食) - 帰路

椿の  
たねっこ拾い  
バスツアー  
11/20

お名前	ご住所	電話	生年月日

宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業

椿のたね、こ拾いバスツアー

2019.11.20  
 中津団地のみなみと  
 (17名)



まずは上山八幡宮へ行ってみました  
 (17人でたねこ)



次に袖浜の恋人岬へ  
 (沢山おりました!!)



今年は  
 10kg!!



次に津龍院さんへ  
 (こちらも沢山!!)



お昼は入各の  
 ばり茶屋 500円  
 ご膳♡  
 帰りは三滝堂に行きました♡



## 2-2. 情報発信・広報を通じた町民活動の支援

当会主催以外の催事についても、復興公営住宅や防災集団移転団地で開催された住民交流会や、地域のイベント等の様子を取材、後述の「南三陸復興まちづくり通信」に掲載し情報発信した。通信の掲載内容を見て、団地間の情報交換・交流が生まれるなど一定の効果があった。加えて、地区の一体性に課題が出ている志津川地区について、より多くの町民の交流が生まれるよう、地区中心部で開催されるイベントの広報支援を行った。

本活動は、以下の助成事業・補助事業の一環として実施したものである。

- ・東日本大震災現地 NPO 応援基金〔特定助成〕東日本大震災復興支援 JTNPO 応援プロジェクト助成金（4月～6月）
- ・平成 31 年度おらほのまちづくり支援事業補助金（南三陸町）（6月～3月）
- ・令和元年度みやぎ地域復興支援助成金（宮城県）（6月～3月）
- ・公益信託仙台銀行まちづくり基金助成金（1月～3月）

### ①戸倉復興住宅・戸倉団地

7/13 浄土真宗富山教区  
仏教婦人会連盟との交流会



### ②戸倉地域



4/21 戸倉神社春の例祭 神輿渡御



5/30 戸倉地区はつらつシニア  
グラウンドゴルフ大会

③志津川西復興住宅・西ヶ丘行政区



5/30 くらふと講習会



6/21 ウィメンズアイ「たがい市」



7/7 西ヶ丘行政区 地区交流会

④志津川中央復興住宅・中央行政区



7/7 中央行政区集会所 落成式



9/17 秋のクラシックコンサート



1/26 交流餅つき大会

⑤志津川“東の東”復興住宅・沼田東行政区



8/16 盆踊り&カラオケ大会



1/12 沼田東行政区 新年会

⑥伊里前復興住宅・伊里前地区



9/15 神戸フィルハーモニック  
「お茶っこコンサート」



1/15 なつかしい昭和 昔を語る会

⑦寄木・葦の浜団地



5/25 海鮮バーベキュー大会（寄木）



10/14 グラウンドゴルフ大会（寄木・葦の浜）



2/1 民謡交流会

⑧みねはた団地



10/14 芋煮会

⑨伊里前地区～歌津地域全体



4/21 のぞみ福祉作業所  
オープンファクトリー



5/19 ハマーレ歌津 しろうおまつり



8/4 ハマーレ歌津 歌津夏祭り



10/28 音楽&絵本読み芝居コンサート  
(伊里前小学校)



11/18 曹洞宗山形県第三宗務所ボランティア  
協議会のメンバーに感謝する会



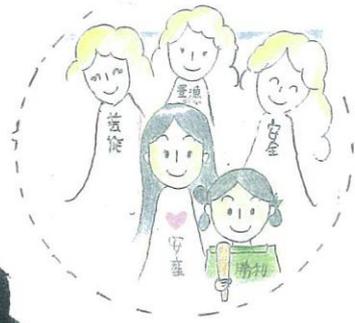
12/8 地域交流グラウンドゴルフ  
初心者大会

ほくもわたしも

八幡さままで

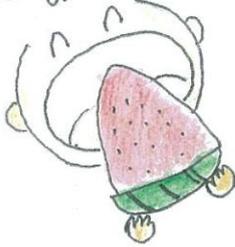


みなで遊びにきて下さい



# 夕涼みの ご案内

おおきなすいか  
めあがれ!



令和  
はじめての  
夏を味わう  
夕涼み

## 7月20日(土)

16:00~19:30

### 上山八幡宮境内

さんさん商店街の向かい側です

雨天の場合は  
（社務所内で）

参加料  
100円でお楽しみ放題!!

神楽殿の前  
かぐらでん

流し  
そめん  
16:00~17:00

お菓子  
釣り

シカボン玉

焼きとり  
なっちゃん!  
こちらは別料金

スイカサービス  
ジュースもあみ

ヨーヨー  
釣り

花火大会  
暗くなったら...

共催  
上山八幡宮  
南三陸橋くさぶ  
NPO 左ノズヴェル  
協賛 五日町 復興  
行政区 委員会

※参加料は寄付金として被災地に全額お送りします ※お車は上の山の空地をご利用下さい

子役として  
地元の赤ちゃんも登場!

奉納 楽神夜  
18:30~  
20:30

9月14日(土)

上山八幡宮

宵宮祭

17:30~

秋季例祭

いっしょに  
やろよ!!



八幡さままで  
ちせなたがい市  
(ウイメンズ・アイ)

16:00  
~19:30

たごき  
縁日コーナー  
手作りパン クレフ 豚汁 etc



今年は  
参道が にぎわか☆  
やまどりなちゃんも来ます

春にお祈りした実りに  
感謝を伝える  
秋まつり

神輿  
渡御  
10:50  
~12:00



みなさんぜひ  
おこしください



9月15日(日)  
例祭

9:30~

主催: 上山八幡宮  
共催: ウイメンズ・アイ  
協力: フェローズ・マイル、復興お祭り会  
五社赤十字青年会、五社町民会

来年小学校に入学する子供たちが  
子どもに扮して  
さんさん商店街まで歩きます! \*^^\*

お問い合わせ: 0226-46-3453 (社務所) 志津川上の山27-2 (目の前です)

### 3. 南三陸復興まちづくり通信発行

上述のような各地域の取り組みや町の復興状況、当会の活動内容等を、月1回発行の「南三陸復興まちづくり通信」に掲載・情報発信した。毎号約1,000部発行し、支援対象復興公営住宅の入居者に全員に配布した他、行政・社協等の関係機関、外部支援者等にも読んでいただけるようにした。昨年度と同様、通信を読まれた方から「自分たちのところでも交流会を実施したい」と相談が来る等、地域活動の水平展開に寄与できている。今後も継続的な発行を目指していきたい。

本活動は、以下の助成事業・補助事業の一環として実施したものである。

- ・東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕東日本大震災復興支援JTNP0応援プロジェクト助成金（4月～6月）
- ・平成31年度おらほのまちづくり支援事業補助金（南三陸町）（6月～3月）
- ・令和元年度みやぎ地域復興支援助成金（宮城県）（6月～3月）
- ・公益信託仙台銀行まちづくり基金助成金（1月～3月）

#### ① 4月 第58号発行

内容 未来へ伝え 語りついでゆく ～ホテル観洋で被災地語り部フォーラム～  
ギター演奏と軽食で楽しく交流 ～志津川西ヶ丘行政区が住民親睦会を開催～  
志津川中央公営住宅でひな祭り / 高台移転みねはた団地で支援団体が住民と交流会  
椿油のけんちん汁 いただきます！ ～戸倉公営住宅の入居者が食事会で交流～  
県臨床心理士会が寄木地区集会所で交流会

#### ② 5月 第59号発行

内容 南三陸町生涯学習センター完成！ 国道45号に新ランドマーク  
志津川東公営住宅で「春の交流会」  
商工会館基本構想発表 令和2年4月開館予定  
戸倉神社の春の例祭で神輿渡御 / 戸倉復興住宅入居者らが町内巡り

#### ③ 6月 第60号発行

内容 震災時の御慰問に感謝！ ハマーレ歌津で改元を前に「天皇皇后両陛下写真展」  
志津川地区復興拠点連絡道路が全線開通！ 役場、病院、商店街へのアクセス向上  
のぞみ福祉作業所で オープンファクトリー開催  
戸倉地区で「はつらつシニアグラウンドゴルフ大会」  
寄木地区住民と支援団体が海鮮BBQで交流会

#### ④ 7月 第61号発行

内容 伊里前地区復興工事で現地説明会開催 / 「戸倉っこマップ」この夏完成予定！  
躍り食い体験も！歌津ハマーレで しろうおまつり  
志津川西復興住宅集会所で“くらふと講習会” / 復興みなさん会が定例総会

⑤ 8月 第 62 号発行

内容 BRT清水浜一歌津間を専用道で供用開始！  
志津川西復興住宅集会所で「たがい市」／軽トラ移動板倉事務所をお披露目  
「歌津地区復興支援の会一燈」がネットワーク会議  
住民の交流拠点完成 餅まきでお祝い！～中央行政区集会所で落成式～  
富山名物マスの笹巻寿司で入居者もてなす 浄土真宗の僧侶らが戸倉復興住宅を訪問

⑥ 9月 第 63 号発行

内容 伊里前地区国道 45 号 新迂回路に切り替え！  
志津川西復興住宅集会所で行政区交流会／志津川荒嶋神社の大鳥居再建  
「みなみさんりく発掘ミュージアム」オープン！  
歌津直売所「みなさん館」が大幅にリニューアル  
多彩なイベントや打ち上げ花火で来場者魅了！  
～歌津夏祭り 町内外からの家族連れでにぎわう～  
沼田東行政区で盆踊り・カラオケ大会！  
～志津川東復興住宅集会所を会場に交流会～

⑦ 10月 第 64 号発行

内容 町民の安全を守る防災拠点が完成！ 南三陸消防署新庁舎落成式  
「戸倉っこマップ」完成！ お披露目会開催  
福岡大生 33 人が下草刈りのボランティア作業  
上山八幡宮「秋の例大祭」にて夜神楽奉納／神戸フィルハーモニックがコンサート

⑧ 11月 第 65 号発行

内容 ツール・ド・東北シーフードカレーで応援！  
復興公営住宅で「秋のクラシックコンサート」  
JT NPO 応援プロジェクト完了報告会に参加／志津川西復興住宅で「お茶っこ交流会」  
高台移転みねはた団地で“芋煮会”／「戸倉っこマップ」完成！ 町に寄贈

⑨ 12月 第 66 号発行

内容 歌津大橋の工事完成！ 住民対象の見学会開催  
葦の浜・寄木地区が合同でグラウンドゴルフ大会  
伊里前小学校で音楽&絵本読み芝居コンサート  
モアイバスで気仙沼大島と陸前高田を見学！  
椿のたね拾いツアーでふるさと巡り  
復興の先を見据え地域の未来を考えるフォーラム

⑩ 1月 第 67 号発行

内容 南三陸町震災復興祈念公園が一部開園！ 「祈りの丘」などで除幕式  
震災犠牲者の鎮魂願い大仏建立 開眼法要

練習の成果を披露 志津川で高齢者芸能発表会  
出会いと絆、思い出に感謝の交流会  
移動交流会で気仙沼大島と陸前高田を見学！

⑪ 2月 第68号発行

内容 南三陸町の仮設住宅 8年9ヶ月で解消！  
自然環境活用センター完成 新年から業務開始  
志津川沼田東行政区が初めての新年会  
志津川中央復興公営住宅で交流餅つき大会  
「歌津地区支援の会一燈」がネットワーク会議  
地区挙げて「グラウンドゴルフ大会」開催

⑫ 3月 第69号発行

内容 南三陸町「道の駅・震災伝承施設」の住民説明会開催  
建築家 隈研吾氏が基本設計の概要を説明  
商工会館移転再建へ上棟式 4月開館予定  
七ヶ浜町で被災地学習・交流会を開催しました  
寄木地区の集会所で「民謡交流会」開催  
「なつかしい昭和 昔を語る会」開催

#### 4. 関係主体との情報交換・連絡調整

今後の支援に必要な情報・ノウハウを習得するために、他主体が主催する会議、研修・視察等に参加し情報交換を行った。

①歌津地区復興支援の会一燈 ネットワーク会議参加

当会の役員が、ネットワーク会議に参加し、情報共有した。全町的に発信すべき情報があった際には、「南三陸復興まちづくり通信」に掲載して情報発信した。

②木の家づくり互助会 定例会参加

③志津川地区まちづくり協議会・かもめの虹色会議 参加

南三陸町復興祈念公園の運営について協議する機会を持ち、連携が更に深まった。

④震災伝承施設基本計画案 住民説明会参加

日程 (i) 5月20日(月) (ii) 5月24日(金)

会場 (i) 南三陸町役場歌津総合支所 (ii) 南三陸町役場

参加 (i) 畠山理事 (ii) 工藤理事

⑤東日本大震災復興支援 JTNPO 応援プロジェクト 助成完了報告会

日時 9月24日(火) 14:00~18:20

会場 TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口 カンファレンスルーム D7 (仙台市青葉区花京院)

参加 後藤代表理事、高田会員

内容 1年間の助成事業の成果報告を行うとともに、参加者の皆さんと情報交換した。

⑥「戸倉っこマップ」 町に寄贈

日程 10月11日(金)

会場 南三陸町役場

対応 後藤代表理事、及川理事、畠山理事、工藤理事

⑦いわて連携復興センター ヒアリング対応

日時 10月29日(日) 13:30~14:30

会場 上山八幡宮 社務所内

来所 特定非営利活動法人いわて連携復興センター 酒井菜穂子氏

対応 後藤代表理事、及川理事、畠山理事、工藤理事、高田会員

⑧とうほくNPOフォーラム in 陸前高田 2019 参加

日程 11月27日(水)

会場 陸前高田コミュニティホール (岩手県陸前高田市高田町字栃ヶ沢)

参加 後藤代表理事、及川理事、高田会員

⑨学生ヒアリング対応

日時 1月7日(日) 16:00~17:05

会場 東北圏地域づくりコンソーシアム内(仙台市若林区土樋)

来所 東北大学教育学部 4年 加藤龍太郎氏(指導教官 石井山竜平准教授)

対応 高田会員

⑩七ヶ浜町視察

日程 2月6日(木)

会場 七ヶ浜みんなの家きずなハウス(七ヶ浜町吉田浜字野山)他、七ヶ浜町内

対応 NPO法人レスキューストックヤード(RSY)石木田氏、横田氏、藤原氏、佐藤氏

参加 後藤代表理事、及川理事、畠山理事、工藤理事、高田会員

内容 RSYの被災者支援の概要や「きずなネット」の活動について説明を受けた後、お互いの組織の課題や悩みについて意見交換をした。沿岸部のフィールドワークでは、菖蒲田浜災害公営住宅、防災集団移転団地などを見学した。

⑪第3回大規模災害公営住宅自治会交流会 参加

日程 2月11日(火)

主催 特定非営利活動法人いわて連携復興センター等

会場 鶴ヶ谷災害公営住宅集会所(多賀城市鶴ヶ谷)

参加 及川理事

内容 みやぎ地域復興支援助成事業の実施内容・成果・今後の見込みについて報告した。

⑫「第5回全国被災地語り部シンポジウム in 東北」への講師派遣

日程 2月24日(月)~25日(火)

会場 ホテル観洋

対応 後藤代表理事、工藤理事

⑬令和元年度みやぎ地域復興支援助成事業 活動報告会 参加

日程 2月27日(木)

会場 宮城県気仙沼合同庁舎(気仙沼市赤岩杉ノ沢)

参加 及川理事、畠山理事、高田会員

内容 みやぎ地域復興支援助成事業の実施内容・成果・今後の見込みについて報告した。

⑭山元町視察

日程 3月19日(木)

会場 つばめの杜西区集会所・つばめの杜中央公園(宮城県亶理郡山元町つばめの杜)

対応 つばめの杜公園管理会 斎藤会長、伊藤副会長、菅原氏(会計)、沓澤氏(前会長)  
山元復興ステーション 橋本氏

参加 後藤代表理事、及川理事、畠山理事、工藤理事、高田会員

内容 震災復興祈念公園が今秋全面開園するのを見据え、先行事例であるつばめの杜公園管理会

の取り組みを学ぶのが目的。ワークショップや利用者アンケートなどを実施していることや、隣接する山下二小の児童と協働したごみ拾いや樹木の生育調査、遊具点検などの活動事例など大いに参考になった。お話を伺った後、公園を視察した。

⑮ 県広報「みやぎ復興情報ポータルサイト」ヒアリング対応

日時 3月23日（月）14：20～15：40

会場 上山八幡宮社務所内

対応 後藤代表理事、及川理事、畠山理事、工藤理事、高田会員

## 5. 団体運営に関する事項

### 5-1. 総会の開催

定時社員総会を以下の通り開催した。

日時 6月23日(日) 16:10~17:00

会場 南三陸まなびの里いりやど 会議室(南三陸町入谷字鏡石)

内容 2018年度事業報告、決算について  
2019年度事業報告、予算について

### 5-2. 理事会の開催

#### ①第1回理事会

日時 6月23日(日) 14:52~15:55

会場 南三陸まなびの里いりやど 会議室(南三陸町入谷字鏡石)

内容 総会提出資料について

### 5-3. 例会の開催

事業の進捗に関する情報共有・協議のため、理事や会員が参加する例会を以下の通り、16回開催した。例会の開催回数は2011年度から通算で187回となった。

4月16日(火)、5月9日(木)、5月20日(月)、  
6月5日(水)、7月18日(木)、8月8日(木)、  
8月30日(金)、9月26日(木)、10月16日(水)、  
10月29日(火)、11月15日(火)、12月6日(金)、  
1月28日(火)、2月10日(月)、2月28日(金)、  
3月23日(月)

定例会の様子



### 5-4. 団体情報の発信

当団体の事業・運営に関する情報については、以下のホームページにて適宜情報発信した。

<http://tohokuconso.org/common/minasan/index.html>

(以上)



# 一般社団法人復興みなさん会

- 震災により壊滅的な被害を受けた南三陸町において、被災した町民間の絆の再生やコミュニティの再構築が南三陸町の本質的な復興まちづくりに向けた大きな礎になるとの信念の下、仮設住宅単位や元の集落単位、新たにできる団地単位等、**多様な形のコミュニティ活動を活性化して町の復興に資する**ことを目的。
- 2011年10月発足。2014年5月一般社団法人化。
- 会員数 7名 (正会員)
- 代表理事 後藤 一磨



自治会設立準備会の支援



復興住宅自治会の活動支援



「椿の避難路」整備

## 復興みなさん会 活動のあゆみ (2011年~2018年)



# 助成事業の概要

## ○プログラム名

南三陸町戸倉 復興公営住宅入居者の引きこもりを防ぐ  
外出支援事業



## ○対象地域 **町営戸倉復興住宅**

整備戸数 80戸（集合70戸、戸建10戸）

入居開始 2016年3月 自治会発足 2016年7月

戸倉地区唯一の復興住宅 地区内に小学校・保育所・駐在所  
防災集団移転団地（84戸）が隣接（自治会・行政区は別）

## ○支援プログラム

①集会所等での交流支援活動コーディネート／②借り上げバスによる移動交流活動／③活動の情報発信を通じた、他団地への波及

# 集会所を活用した、外部支援者等による交流支援

## ○当方主催の交流会 2回



7月31日  
これからの活動について



3月5日  
椿油でけんちん汁を作らましょ！



○外部支援者の受入コーディネート 5回  
自治会等主催交流会の情報発信支援 4回

- 交流会の参加者は限られるので、事前（チラシ配布）や、事後（結果報告）の広報支援を重視。
- 復興公営住宅や隣接する防災集団移転団地への情報共有に寄与。

# 借り上げバスによる移動交流活動

○町の無料貸切バス「モアイバス」を活用した移動交流会  
 （移動困難者向け外出支援活動）



9月20日 戸倉～北上地区



4月22日 町内お花見

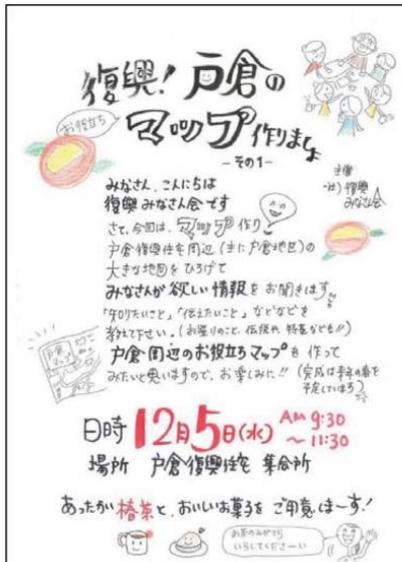


○自分の出身地区の今の様子がわからないという声。

→ 戸倉地区がどう復興しているか、「マップづくり」を通じて支援。

# 「戸倉っこマップ」づくり

○マップに盛り込みたい情報、戸倉の文化、地域の思い出などをワークショップ形式で聞き取り。



12月5日

1回目のワークショップ  
 チラシとレポート

交流会の場などを活用して  
 随時、聞き取り・経過報告

6月24日

2回目のワークショップ  
 （完成版おひろめ）





## 情報発信・共有の重要性／今後の課題

- 仮設住宅時代からのつながりを活かした外部支援者の活動は一定程度継続している。
- 社協が配置しているL SA（生活援助員）による支援も一定期間継続の見込み。
- 地域活動の情報発信・共有の重要性  
→ 「復興まちづくり通信」による広報支援を一定期間継続していきたい。

### ＜中期的な方向性＞ → 継続支援

- 隣接する防災集団移転団地のコミュニティとの一体化への支援。
- 「戸倉地区」としての課題解決主体？



年度	2000	2005	2010	2015	参考 2019.6	2010→ 2019.6 変化率
七ヶ宿町	2,034	1,871	1,694	1,461	1,386	-18.2
南三陸町 戸倉地区		2,617	2,296	1,637	1,397	-39.2
南三陸町 歌津地区	5,748	5,516	5,061	4,524	4,230	-16.4



コミュニティ

一般社団法人

# 復興みなさん会

団体所在地

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26 上山八幡宮社務所内

Tel: 070-5472-5930 (事務局)

## 団体事業内容

仮設住宅・復興公営住宅のコミュニティ形成支援

## 申請事業の内容

南三陸町復興祈念公園を町民参加で運営するための支援、記録誌「復興みなさん会活動10年のあゆみ」発行による情報発信を行います。



自力で町内に帰宅できない人たちを対象に実施された南方仮設住宅住民の椿のお花見会



伊里前復興住宅でいけばな交流



復興シンボル“橋”の育樹作業



志津川中央復興住宅自治会主催の芋煮会



福岡大学学生ボランティアによる津波避難路の下草刈り

# 一般社団法人 復興みなさん会

実施地域：本吉郡南三陸町

主たる事業所の所在地および連絡先

住所：本吉郡南三陸町志津川字上の山26 上山八幡宮社務所内  
電話：070-5472-5930(事務局)

メール：minasan.msrk@gmail.com

HP：http://tohokuconso.org/common/minasan/

## 総合タイプ② 復興公営住宅入居者の引きこもりを防ぐ、 外出・交流支援事業(南三陸町戸倉・志津川西)

### 活動の背景やきっかけ

復興公営住宅の自治会が、共益費の集金や団地の共通費用支払といった最低限の機能にとどまらず、住民同士の交流や助け合い活動のような多様な機能を発揮していくことができるよう、集会所を活用した交流会や外部支援者のコーディネート、町の無償貸切バス「モアイバス」を活用した外出支援活動等を通じて支援した。対象地区については、これまで当会の支援活動が十分に展開できなかった地区の中で、自治会活動の自走に課題が残っていた2ヶ所の復興公営住宅を選定した。

### 実施した活動と助成金をどのように使ったか

#### (1) 椿はな咲くまちづくりお茶会

住民がふらっと気軽に出てこられる雰囲気サロンの「椿はな咲くまちづくりお茶会」を開催した。戸倉団地では、地区全体の復興の様子をまとめた地図「戸倉っこマップ」を作っていく活動を交流会活動に組み入れた。



2019.9.19  
戸倉っこマップの  
完成お披露目  
(戸倉団地)

#### (2) 移動交流・外出支援活動

復興公営住宅入居者が一緒に、町内や近隣市町の復興の様子を見学し商業施設や観光施設等をめぐる移動交流会を開催した。

2019.11.18  
気仙沼～陸前高田  
移動交流会  
(志津川西団地)



(下)  
復興まちづくり通信

#### (3) 「復興まちづくり通信」の発行

(1)(2)の活動の様子を取材しまとめた「南三陸復興まちづくり通信」を発行し、情報発信した。対象復興住宅の入居者には全員に配布した。加えてこの通信を他の復興公営住宅入居者や、行政・社協等の関係機関、外部支援者等にも配布して見ていただくようにした。

○助成金の使い道 人件費8割／通信印刷用紙・インク代・取材交通費1割／他経費1割

### 活動を通じた成果、地域・住民の変化は

移動交流会については、告知後すぐに参加者が定員近くまで集まるなど、ニーズが高く、参加者の感想からも満足度が高い傾向が見られた。事前にお茶会の場で希望を聞いて行先を決めるようにしていたが、「〇〇に行きたい」「●●したい」といった前向きな声を聞くことができた。さらに復興まちづくり通信を読んで「あそこの団地でやった交流会うちでもやって」という声をいただくことも増え、活動の水平展開も徐々に進んでいる実感を得ることができた。

### 今後の活動や目標

地域の現状を考えると、復興公営住宅内の交流活動だけでは近々限界が来る。サロン企画について団地を超えた交流・連携も模索したが今回の対象地域ではうまくいかなかった。日頃顔を合わせない方と一緒に活動することに消極的な姿勢が見られ、脆弱なコミュニティが閉鎖的になりつつある傾向が感じられた。今後は、復興祈念公園をフィールドにした活動など、コミュニティが開かれるような活動を工夫して進めていきたい。



# みやぎ復興情報ポータルサイト



東日本大震災の概況

復興計画

復興の進捗状況

復興の歩み

復興取材レポート

## 【復興インタビュー】一般社団法人復興みなさん会

2020年4月24日

南三陸町で、東日本大震災からの復興に向けたコミュニティづくりに取り組む「復興みなさん会」。町民自ら取り組む多様な形のコミュニティ活動について、代表の後藤一磨さんはじめ、会員のみなさんにお話を伺いました。

### 町民による、町民のためのコミュニティ支援

後藤さんをはじめ、宮城大学が配置した4名の復興まちづくり推進員が中心となり、「復興みなさん会」としての活動がスタートしたのは2011年10月のこと。自らも仮設住宅に入居しながら、町民の声を丁寧に聞き取り、仮設住宅で今起きていることの中から課題を見つけ、コミュニティづくりや「南三陸復興まちづくり通信」などの情報発信活動に取り組んできました。宮城大学による支援が終了した2014年以降も、一般社団法人として活動を続けています。



「復興みなさん会」の最初の取組は、「仮設住宅マップ」の制作でした。避難所から二次避難所、仮設住宅と生活の拠点が移っていく中で、それまでのコミュニティは崩壊。個人情報保護の観点から入居者情報は公開されることなく、どこに誰が住んでいるのか分からない状態だったと言います。そこで一軒一軒仮設住宅を訪問して聞き取り調査を行い、掲載許可が得られた世帯について、世帯主の名前と元の集落・地区名を記載したマップを制作し、住民に配りました。

仮設住宅への入居が落ち着いた頃からは震災について学ぶワークショップ「復興てらこ屋」の活動もスタート。最初は、分散避難により参加者を集めるのに苦労しましたが、「お茶会」や「緑のカーテンづくり」など楽しい活動をしてから震災や復興について考える時間を設ける構成にし、ハードの復興に関心が薄い方も気軽に参加できるように工夫。時には町の担当者を招き、復興状況についての正しい情報を得て、建設的な意見交換を行う場にもなりました。

そのこの取組は、復興公営住宅のコミュニティづくりにも生かされました。町役場主催による復興公営住宅入居予定者向けの「くらしの懇談会」では、いくつかのテーブルに分けるなど話しやすくなる環境を整え、住民同士の交流はもちろん、住宅の間取りやペットの問題、集会所のレイアウトなど、積極的な意見交換が行われ、一部は実際の住宅に反映されました。



### 人と人が支え合う、魅力あるまちづくりを

南三陸町は今、復興公営住宅への入居も完了し、それぞれの自治会も設立され、一つの区切りがついたようにも見えますが、「復興みなさん会」としては課題も感じていると言います。例えば、自家用車以外の移動手段は十分とは言えず、特に車を運転できなくなった高齢者や町外の学校に通う高校生には不便であったり、新しい病院が整備されたものの、多くの患者が出た場合の地域医療に不安を感じていたり、若い人を呼び込もうにも働き口の確保が難しかったり。後藤さんは「ここに暮らしたいと思えるまちの魅力づくりが課題ですね」と話します。

2019年秋には「震災復興祈念公園」も一部開園。「復興みなさん会」では、それをただの震災の祈念公園ではなく、自分たちの公園として積極的に関わることに取り組み始めています。2012年から続けてきた「櫓の避難路づくり」で育てた苗木43本を寄付して、町民みんなで植える計画もその一つ。「一つひとつの活動は些細なものでも、いろいろな世代の人が集まり、どんなまちにしていきたいか、未来を描くきっかけづくりになれば…」と後藤さんは話します。震災前は自分たちでまちづくりを考えることもなく、行政にほぼ頼っていたと話す会員たち。“住民力”をあげて、行政と協力しながら、地域の暮らしを支えてきた人と人とのつながり、コミュニティの絆を再び強くしていく活動は、今後より一層大切になっていくはずだ。



一般社団法人復興みなさん会

<http://tohokuconso.org/common/minasan/>

いいね! 0

ツイート

LINEで送る

0

復興インタビュー

南三陸町

□ 【復興インタビュー】 仙台インプロGRESS

□ ホーム □ 復興レポート □ 南三陸町 □ 【復興インタビュー】 一般社団法人復興みなさん会

宮城県震災復興本部  
(事務局：震災復興推進課)  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号